

第9回 興譲館高校所蔵資料調査報告

- 1 日 時 令和7年12月14日(日) 9時30分～16時
- 2 場 所 興譲館高校 図書室、同窓会室、史料室
- 3 参加者 興譲館高校石黒宏治先生 山口憲武先生 鈴木典子氏(学校司書)
同校 生徒 5名 (午前5名、午後2名)
上杉博物館 学芸員 佐藤正三郎

*小嶋弥左衛門同窓会会長はじめ、同窓会役員4名(小嶋会長、副会長の鈴木氏・佐野氏・藤倉氏)の視察、激励あり

○主な成果

- ・ 図書館保管分の目録補遺進捗 (約300点)
→篠田家寄贈本を中心に、新たな蔵書印(米沢学校、一宮中…、大島文庫他)
- ・ 展示、調査候補の主な日記、写真資料の撮影、デジタル化(約30点)
- ・ 展示候補資料の基礎的な調査(法量、写真撮影など)

4 目 的

- ・ 2026年 藩校興譲館250年 興譲館高校140周年 に向けて
→秋に上杉博物館にて関連する特別展を開催予定
- ・ 学校関係の基礎資料の整理、調査 (日誌、写真など)
- ・ 特別展準備のための調査、展示候補資料の選定、写真撮影

5 図書室保管分 (鈴木司書、山口先生、生徒4名) → 3班

- ・ 目録情報の訂正(H9～J5までほぼ完了、残り700点程度)
*同規模の調査体制で、あと3回程度と推定
無地の紙、赤枠墨書、赤枠ペン書きの3種のラベル(付箋)にも留意(後述)

○新たに確認された蔵書印

「米沢学校」：「斯泰涅爾小児科」(I5)3冊：明治8年刊。置賜県時代カ
近代以降の医学教育の可能性あり、要調査

「氏家蔵書」：未詳。「宇都宮県学校之印」(宇都宮藩校関係?)

「一宮中□善□書」：要解説。図書館では「一宮藩文庫記」他の例あり

~~—上杉家関係の基本史料、借用候補資料の撮影—佐藤：(17点)—~~

→未実施、次回以降(または撮影のみで訪問)

6 史料室保管分 (石黒先生+生徒1名)

○石黒先生 +伊藤さん(佐藤) D12~32くらいまで

・写真資料の整理 調査(法量など)と撮影(スキャニング)

番号付け、(中性紙での挟み込み): 要、次回包紙の追加(カット)

→明治34年の新校舎完成記念、明治30年代以降の集合写真(卒業記念)

一部は展示候補 (同窓会予算にてスキャナ購入済)

○佐藤担当分

・細井平洲書状 の再撮影、計測 (一部、抜けありのため)

・学校日誌の一部 再撮影 (明治44年度11月~大正4年まで)

7 校長室保管分の調査・撮影

・借用候補資料、医書、基本史料、の撮影 3点(一部)

8 今後の調査等予定

・12月~1月 写真撮影(図録用、カメラマンによる) 1~2日

*1月以降、平日でも石黒先生による調査+α

→調査、整備事業自体、次年度も行う可能性あり (学生にも呼びかけ)

・平日を含めた調査 (図書館分 他)

・同窓会ホームページでの調査経過、成果などの情報発信

○ラベルについて



ラベル欄に 8 一七八 といった形で記入する。

- ・青ラベルの場合は、9 七三 （青ラベル） と記載。
- ・飾り赤枠の場合は、二冊ノ内70 （赤飾枠） と記載

○通常の赤枠ラベルについて（

- ・一文字目はアラビア数字（2、8、9） ほとんどが8
- ・次の漢数字 は通し番号か
- ・三段目の漢数字 同一書目（叢書、シリーズ本）内での巻数

○使用されている番号

8 一～二二四 ？

9 四～六七 / 11 二、五、九

* 赤枠ラベルは、篠田（病院または家）での整理番号と推定される。

いわゆる図書分類（日本図書館分類規則や四書分類）とは異なる。

飾り赤枠ラベルは未詳